



ETK2045078B

屋外用小型接続箱 CTB01-M0 工法書

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▼ 安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりとなっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本製品に関する安全上のご注意	
危険 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
警告 右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 本品は、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようご注意ください。
注意 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 本接続箱の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。接続箱の機能低下及び破損の原因となります。
お願い 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバの配線は、許容曲げ半径15mm以上をお守りください。 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。

【工程】

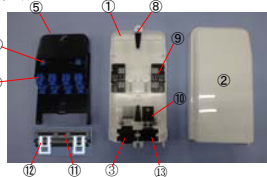
1. 使用工具
2. 構成品
3. 設置方法
4. 蓋の開閉
5. アダプトレイの開閉及び着脱

6. ケーブルの処理
7. ケーブルの固定
8. 一次側コネクタの接続
9. 二次側コネクタの接続

1. 使用工具

No.	工具名	No.	工具名
1	プラスドライバー(2番)	5	シースカッター
2	マイナスドライバー	6	ニッパー
3	トルクレンチ7N・m以上(六角レンチ:対辺5mm)	7	ペンチ
4	コンベックス	8	ケーブルカッター

2. 構成品



- ①本体 ②蓋 ③グロメット ④吊り金具(※)
 - ⑤アダプトレイ(※) ⑥SCアダプタ(※)
 - ⑦簡易4心コネクタ付きF0コード(※)
 - ⑧跳ね止め⑨ホルダ ⑩ドロップケーブル把持具
 - ⑪グロメット ⑫OILケーブル固定金具
 - ⑬ドロップアダプタ
- ※パラメータにより有無が変わります。

3. 設置方法

3-1. 架空(支持線)設置の場合 (オプション品にて対応可能です)

吊り金具を支持線に掛けてボルトをゆるめて下さい。吊り金具クランプの「く」の字の中央に支持線を合わせてボルトを[7N・m]で締め付けて下さい。



●ボルト締め付け後に吊り金具を外す場合

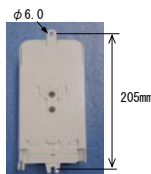
支持線に固定されたクランプは傾斜して本体と噛み合った状態にあります。噛み合いを解かずにはボルトをゆるめるとネジ部が破損する恐れがありますので、以下の手順でボルトをゆるめて頂きますようお願い致します。

- ボルトを反時計方向に回転させてボルトをゆるめて下さい
- ※途中で著しく抵抗が大きくなる場合がありますので回転を中止して下さい
- ボルトに差し込んだ工具(ボルトポイント不可)を片手で持ち、もう片方の手は本体に添えて、工具を反作業面方向に倒してクランプの噛み合いを取り除いて下さい
- その後、再びボルトをゆるめて下さい。再びボルトの回転に抵抗がある場合は繰り返して下さい。



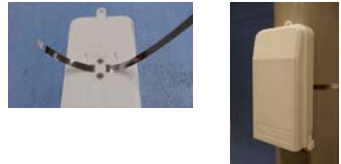
3-2. 壁面設置の場合

本体の壁面固定用穴(内径:φ6.0)を使用して壁に固定して下さい。
※アンカー及びボルトは添付されておりません。ボルト及び壁の強度を考慮して準備して下さい。



3-3. 支柱設置の場合(オプション品にて対応可能です)

本体背面のバンド取付け部にバンドを通して支柱に固定して下さい。(バンド幅10mmまでの取り付け可能)



4. 蓋の開閉

4-1. 蓋の取外し

蓋の左右側面のラッチを外した後、蓋を手前に引き上げて下さい。
※片側ずつ順番に外すとやりやすい



4-2. 蓋の取付け

本体の天面に蓋を嵌め込んだ後、ラッチを嵌合して下さい。
※ラッチが確実に嵌め込まれていることを確認して下さい。

※写真は一例です。



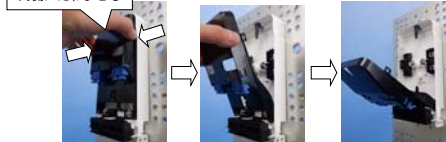
5. アダプトレイの開閉及び着脱

5-1. アダプトレイの開閉

アダプトレイの下側中央のツマミを手前に引いてアダプトレイの軸受け穴を手前から奥側に切り替えた後、アダプトレイの上部(滑止め部位)の左右を内側にたわませながら手前に倒して下さい。



※写真は一例です。



閉じる場合は開き方の逆の手順で行って下さい。心線が収納されている場合は心線の挟み込みに十分注意して作業して下さい。

5-2. アダプトレイの着脱

アダプトレイを取り外す場合は、アダプトレイが開いた状態でアダプトレイ下部の軸受け穴の周辺を内側にたわませて取り外します。アダプトレイを取付ける場合は取り外し方法の逆の手順で行って下さい。

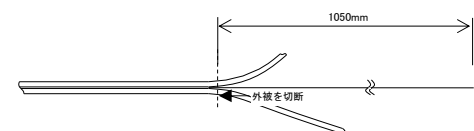


※写真は一例です。

6. ケーブルの処理

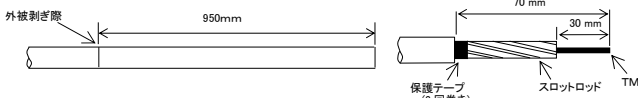
6-1. ドロップケーブルの場合

下图の寸法でケーブル外被を剥ぎ取ります。



6-2 丸型ケーブルの場合

下図の寸法でケーブル外被及び上巻きを取り除きます。外被の剥き際に保護用 PVC テープ(10mm 幅、別途購入品)を 2 回巻いて下さい。スロットロッド及びテンションメンバの処理は下図の寸法で行って下さい。



7. ケーブルの固定

7-1 ドロップケーブルの場合

①ドロップ把持具固定金具+ドロップ把持具(4 条用)のとき

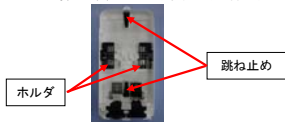
7-1-1 ドロップ把持具固定金具の取り付け (フレ配線なしの場合のみ)

ドロップ把持具固定金具を付属の十字穴付きなべ小ねじ M4x8(SW,W) 2 個にて本体に固定して下さい。



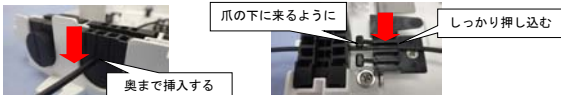
7-1-2 ホルダ、跳ね止めの固定 (フレ配線なしの場合のみ)

ホルダ、跳ね止めを上から挿入し固定させます。(カチッと音がするまで押し込んでください)



7-1-3 ドロップケーブルの固定

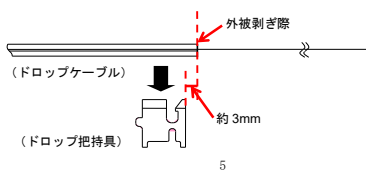
ドロップケーブルをドロップアダプタの切込みの奥まで挿入し、ドロップケーブル把持具に固定する。



②ドロップ把持具(1 条用)のとき

7-1-4 ドロップ把持具への固定

ドロップケーブルの外被剥き際をドロップ把持具から 3mm ほど出して固定して下さい。



7-1-5 ドロップ把持具の本体への固定

ドロップケーブルを固定したドロップ把持具を、本体の固定穴に差し込んで固定して下さい。



7-2 丸型ケーブルの場合

7-2-1 グロメットの取付け

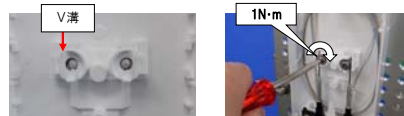
グロメットを本体から取り外して、グロメットの閉塞部を取り除いて下さい。グロメットの「INSIDE 表示」が上向きになるようにケーブルに取り付けて、本体に添付するまで挿入して下さい。



7-2-2 テンションメンバの固定

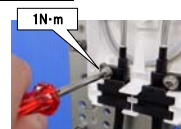
TM 固定部の V 溝にテンションメンバを合わせて、ネジをトルク 1N・m で締め付けます。又はネジを手締めで締め付けて著しく抵抗が生じたところから更に 1/4 回転締め付け下さい。

ちなみにネジは 4 回転以上で外れますので部品の脱落、紛失にご注意下さい。【注意】締めすぎ注意



7-2-3 ケーブル外被の固定

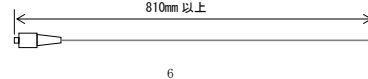
外被把持具を本体に戻してネジをトルク 1N・m で締め付けます。又はネジを手締めで締め付けて著しく抵抗が生じたところから更に 1/4 回転締め付け下さい。【注意】締めすぎ注意



8. 一次側コネクタの接続

8-1 調尺 (フレ配線なしの場合のみ)

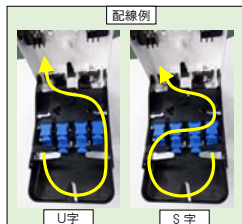
光コネクタ付きコードの心線長: 810mm 以上 (アダプトレイから導出された光コネクタ付きコード心線が本体収納部を 1 周して直近のホルダに収まる長さ)



8-2 光コネクタ接続

【注意】アダプトレイ内は曲げ特性強化光ファイバ(R15)をご使用ください。R30 には対応しておりません。

・アダプトレイを本体に取り付けて下さい。(5-2 項参照)
・光コネクタを SC アダプタに嵌合して下図のように心線を配線して下さい。
※光コネクタの取り扱いに注意して確実に嵌合されていることを確認して下さい。



8-3 心線接続

導入ケーブルの上側側の心線と簡易 4 心コネクタ付き F0 コード心線、もしくは光コネクタ付きコード単心線を接続します。接続部をホルダに固定して心線余長を収納し、上下左右の跳ね止めを使用して収納して下さい。

8-4 アダプトレイを閉じる

心線の飛び跳ねや挟み込みが無い事を確認してアダプトレイを閉じて下さい(5-1 項参照)

【一次側の接続はここまでです】

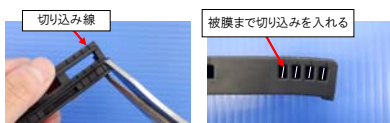
9. 二次側光コネクタの接続

9-1 蓋の取外し

蓋の左右側面のラッチを外して、蓋を手前に引き上げて下さい。(4-1 項参照)

9-2 グロメットの処理

グロメットの「切り込み線」に沿ってケーブル導入穴の被膜まで切り込みを入れて下さい。



※写真は一例です。

9-3 二次側光コネクタの接続

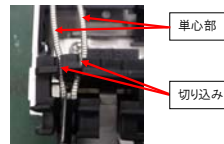
機器に付属のコネクタ付きケーブル(以下「添付ケーブル」)のコネクタを、取り扱いに注意して確実にアダプタに嵌合させて下さい。



※写真は一例です。

9-4 ケーブル固定

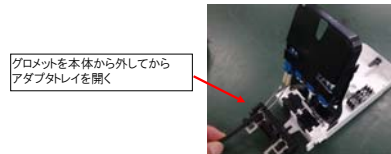
① 単心部(金属補強部)を 9-2 項で入れたグロメットの切り込みに入れて下さい。



② 製品添付の結束バンドを用いて、添付ケーブルを OIL ケーブル固定金具に固定して下さい。



※二次側光コネクタの接続及びケーブル固定した後アダプトレイを開く場合、光ファイバに極度な曲げが加わる可能性がありますので、グロメットを本体から外してからアダプトレイを開いて下さい。



9-5 蓋の取付け

蓋の天面を本体に嵌め込んだ後、ラッチを嵌合して下さい。(4-2 項参照)

ラッチが確実に嵌め込まれていることを確認して下さい。
※本体と蓋の左下にある穴は、紐を通して蓋の落下防止や、錠を取付けて不正に開くことを防止する場合に使用して下さい。

以上